

[18] 陰経(=内)病証 4.下焦：瘀血の病 (泌尿生殖器系)

(1) 基本的に：体の内側の臍より下に主症状やツボが出る (左が多い) (泌尿生殖器系)

- ① 悪血によることが多く、生理痛、内膜症、筋腫、不妊、難産、乳腺炎などと関係が深い。
- ② 足の陰経 (特に厥陰経) や横輪切りの俞穴など背中～腰・臀部の穴にも引きやすい
- ③ 短命のスポーツマンは、打撲による瘀血証が多い (手術後に瘀血証になる人も多い)
- ④ 下焦には食毒も溜まる (消化器系の末端の大便排泄の関係?)
- ⑤ 下半身の浮腫は、小腹(下焦)や足厥陰経との関連が深い

(2) ツボが出やすい所

① 足の陰経

- 1.足厥陰：蠡溝、中封、太衝、
(慢) 足五里～陰包
- 2.足少陰、足太陰：照海～大鐘、血海
- 3.下半身の浮腫・泌尿系：復溜

② 足の陽経

- 1.腹表面の痞り：足陽明～少陽
(慢性は大腿部も)
- 2.(灸)：冷え→足甲3-4間、浮腫→失眠

③ 陽位(背)

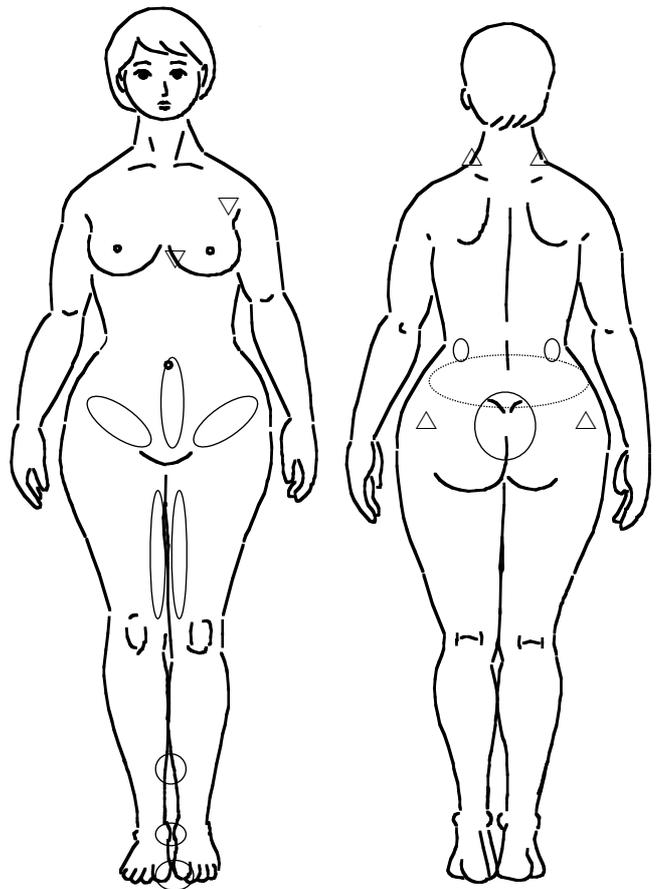
- 1.腰椎2～仙骨の督脈、華佗経、1,2行線
腰徹腹、腎俞、志室、大腸俞、
環跳、胞膏、上仙、次髎
- 2.首の付け根 (瘀血のときは肩井よりも多い)
- 3.浮腫・泌尿系：大椎～至陽 (発汗)

④ 腹部

- 1.関元～曲骨、水道～归来、下盲俞
- 2.五枢維道～衝門～横骨、居髎

⑤ そのほか

- 1.手の陰経：内関(急)、上曲沢(慢)
- 2.瘀血証：乳房の裾野



(3) 手順 (慢性期)

- ① ツボを考慮して慢性期の型 (+灸・灸頭鍼：特に、冷えたり虚したりしている所)
- ② 灸・灸頭鍼・置鍼+鍼：(骨空or指端.灸→) うつ伏せ→仰向け→手指端or骨空灸 (→必要なら鍼)
(灸・灸頭鍼のツボ：1.上仙,次髎,腰徹腹、2.気海～曲骨,下盲愈,五枢～衝門、3.足五里～曲泉)
・自己養生の灸としては、蠡溝、内踝まわり、足親指まわり (指端、指裏、着地曲)